平成22年度国立文楽劇場

館内共聴モニター(テレビ)の更新及び録画装置等の購入

仕様書

平成22年11月

独立行政法人日本芸術文化振興会

国立文楽劇場舞台技術課

１、件名　　　平成２２年度国立文楽劇場
「館内共聴モニター(テレビ)の更新及び録画装置等の購入」

２、概要及び目的

日本芸術文化振興会　国立文楽劇場では劇場内モニターとしてテレビを配置しているが、緊急時等におけるテレビ放送視聴や関西文化情報収集などの必要があるため、現有しているモニターを地上デジタル放送対応機種に入れ替え録画再生可能な機種も合せて導入し、情報を保存活用できるものとする。

また、文楽公演など放送や公演記録視聴などの保存活用も可能にするため録画媒体（ブルーレイ）の導入も同時に行う。

３、納入品目　　地上デジタル放送対応モニター60 台（その内、録画機能付 6 台）
ブルーレイ録画再生機　　　　9 台

４、納入場所
独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場
大阪市中央区日本橋 1－12－10　　館内の指定する場所

５、納入期限
平成２３年２月２８日（月）
上記期限に関わらず、契約後、納入品の手配が整い次第、納入を行うものとする。

６、調達内容
（取付け場所の詳細は平面図による。）

① 録画機能内臓テレビを６台。
４２吋同等　スタンド付　（１台)
３７吋同等　壁掛け型　（１台）
３２吋同等　壁掛け型　（３台)
２２吋同等　据置型　（１台)

② 地上デジタル対応テレビを５３台。詳細は別紙(配置図により決定)
③ 極小テレビ１台（１０吋ぐらい）
④ ブルーレイ録画再生機　9 台。
⑤ 取付け及び調整をする。
⑥ 室内の受信端子よりテレビまでの同軸コードの配線をする。
(露出配管はモール処理をすること。)
⑥　現有する地上デジタル対応テレビの移動及び取り付け。（３台）
⑦　現有アナログテレビ６２台の廃棄処理をする。

７、技術的要件の概要

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等の要求要件は以下の通りである。

① 納入する機器は耐久性・信頼性・拡張性を有する機器であること。

② 機器の搬入・据付・配線・接続・調整の費用は、請負者側の負担とする。

③ 作業日程は、独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場舞台技術課（以下舞台技術課という）と協議し工程表を提出すること。

④ 設置場所は舞台技術課の指示に従うこと。

⑤ 運用時間として、終日連続して使用できる精度をもち耐久性、安全性のあるシステムであること。

⑥ 壁掛け仕様は落下防止の処置をすること。（取り付け場所は別紙にて表記）

⑦ 盗難防止の必要があるところには、盗難防止対策をすること。（取り付け場所は別紙にて表記）

⑧ 納入機器に対し、平成２４年３月３１日までの保証期間を設けること。

⑨ メンテナンス・サポート体制が自社で可能であること。

８、共通事項

① 機器の取り付けに際しては別紙図面の位置において行うものとするが、担当者と打ち合わせのうえ決定すること。

② 詳細については監督職員の支持により実施する。

③ 工事期間及び取付け完了後は、監督職員の検査を受け清掃、整理整頓を心がけること。

④ 発生材の処理は、請負者において搬出処分とする。

⑤ 場内施設などを汚損または破損したときは、報告義務の遂行と現状復帰すること。

９、特記事項

① 取扱説明書は日本語であること。

② 納品一覧表を提出すること。

③ 工程表を作成し提出すること。

④ 関連雑工事を行うこと。

⑤ 廃棄処理にかかる費用は請負者が負担するものとする。

⑥ 本件は文部科学省発注工事請負等契約規則記第３号及び適用規格に準拠し施工すること。

１０、調達備品に備える技術的要件

録画機能内蔵テレビ

1. 画面方式　　　プラズマまたは液晶画面であること。
2. 画面サイズは別紙一覧参照とする。（インチサイズは指定サイズ前後であればかまわない。納品一覧に明記すること）
3. アスペクト比　　１６：９とする。
4. フルハイビジョン対応であること。
5. 内臓スピーカーがあること。
6. イヤホンジャック（ヘッドホーン）があること。
7. 館内共聴モニター〈アナログ回路〉が受信でき録画もできること。
8. ハードデイスク　容量は２５０GB 以上であること。
9. BS 放送視聴可能であること。
10. ２画面再生できること。
11. 操作表示画面（メニュー）は日本語であること。

地上デジタル対応テレビ

1. 画面方式　　　プラズマまたは液晶画面であること。
2. 画面サイズは別紙一覧参照とする。（インチサイズは指定サイズ前後であればかまわない。納品一覧に明記すること）
   （＊一部指定インチ数あり　２階　操作室１５吋限定）
3. アスペクト比　　１６：９または４：３
4. 内蔵スピーカーがあること。
5. イヤホンジャック〈ヘッドホーン〉があること。
6. 館内共聴モニター〈アナログ回路〉が受信できること。
7. 操作表示画面（メニュー）は日本語であること。

ブルーレイ録画再生機

1. HDD 容量は５００GB 以上とする。
2. ハイビジョン対応であること。
3. DVD が録画、再生できること。
4. 館内共聴モニター〈アナログ回路〉が受信、録画できること。
5. ２番組録画が同時に出来ること。
6. 操作表示画面（メニュー）は日本語であること。

アンテナ線の設置、その他

　既存のアンテナ線を使用して構わない。

アナログ、デジタル分配器は標準的なもので構わない。
アンテナ線は各部屋のテレビ受信端子より配線するものとするが、工事の都合上、別の取付位置からでも配線しても構わない。（この場合担当者と協議して決めること。）

壁面取付金具は、テレビ本体に適合した製品であるものとし、メーカーは問わないものとする。
既存機種のアンテナ線同軸ケーブル等を流用して、基本的な配線を行うものとする
壁面設置を行なう設置場所、機器については、同一室内での近距離（およそ 3〜6 メートル程度）の移設を伴うため、アンテナ線同軸ケーブル、電源コード、配線に係るモールなどの部材について、対応が可能であるよう十分な準備を行なうものとする。
壁面設置を指定しない設置場所についても、軽微な位置変更などに対応が可能であるよう、ケーブル、コード、モールなどの部材について、十分な準備を行なうものとする。
テレビ本体の付属部品による、基本的な転倒防止措置を施すものとする。
取り付け位置の詳細は現場説明会時に視察可能である。